



広島県ボランティア研修会

12月3日(木)広島市立白島小学校の4年生を対象にボランティア研修会を行いました。国際理解学習として、教師から満州国についての説明がありました。児童からは「なぜ日本人なのに今も日本語の勉強をしているのか」など、素朴な質問に、教師とセンター職員が分かりやすく答えました。後半は帰国者1世が指導者となり、中国結びを教えながら、楽しく交流しました。児童たちは帰国者から直接話を聞くことができ、記憶に残る授業になったようです。

岡山県相談説明会・健康増進交流会

12月11日(金)岡山県の帰国者を対象に相談説明会・健康増進交流会を開催しました。相談説明会では、認知症について学びました。家族がすでに重度の認知症を患っている参加者がこれまでのつらい経験を語り、他の参加者たちも認知症を身近な問題だと感じたようです。今回2回目となるスポーツ吹矢体験会は、参加者の3分の2が前回体験済みでしたが、またやりたいと、楽しみにしてくれていた様子でした。

中国・四国ブロック社会見学交流会

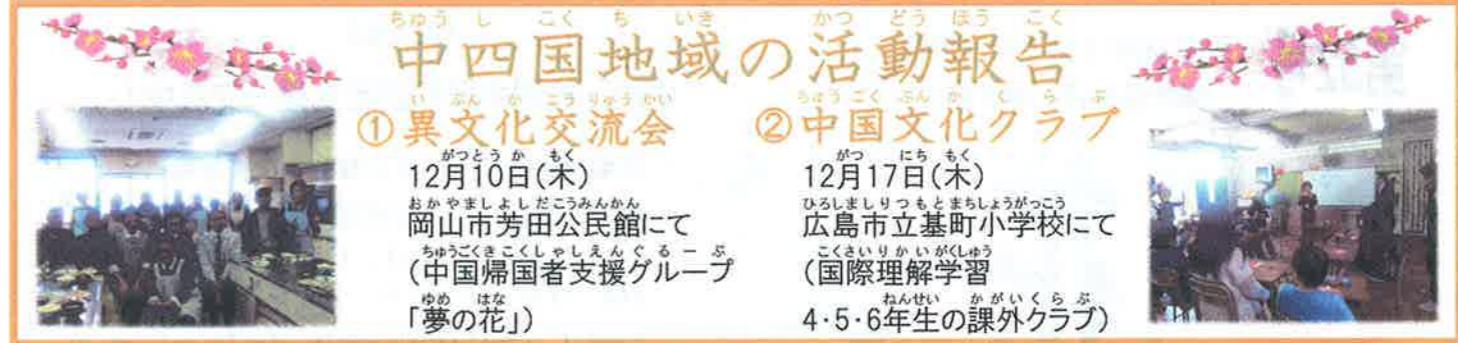
12月14日(月)・15日(火)中国・四国ブロックの帰国者を対象に社会見学交流会を開催しました。二日間を通して、太秦映画村、金閣寺、嵐山、平安神宮、清水寺、平等院など、京都の名所を巡り、歴史ある京都で、日本の文化や習慣にふれ、帰国者同士の交流も深めることができたようです。また、先般発行されたマイナンバーについても説明会を行い、カードを発行すべきか、どのように利用するのかなどの質問に答え、帰国者の不安も解消されたようでした。

広島県健康増進交流会

12月21日(月)広島県の帰国者を対象に健康増進交流会として、ミニ運動会を開催しました。足腰が痛いと通院している帰国者も勝負がかかるとつい本気になって懸命にプレーする姿に、怪我をするのではないかとひやひやする場面もありました。また、日本語での伝言ゲームなど、勉強の要素を取り入れた種目もあり、帰国者たちは運動だけでなく、団体行動や日本語の学習など、様々なことにチャレンジし、心身ともにリフレッシュできた様子でした。

香川県高齢者施設見学・交流会

1月19日(火)香川県の帰国者を対象に高齢者施設見学・交流会を開催しました。訪問先の施設は高松市にある特別養護老人ホーム「さぬき」で、昭和4年に設立された歴史ある施設でした。「両親が老老介護をしていて、いくら、ティーサービスや訪問介護を勧めても、頑なに利用を拒んでいる」と言っていた帰国者が、「今回見学した内容や制度を両親に伝え、介護サービス利用について関係機関に相談したい」と話し、介護の方法を見直す良い機会となつたようです。



①異文化交流会
12月10日(木)
岡山市芳田公民館にて
(中国帰国者支援グループ
「夢の花」)

②中国文化クラブ
12月17日(木)
広島市立基町小学校にて
(国際理解学習
4・5・6年生の課外クラブ)

投稿 今日は、2通ご紹介します。

『忘れ難き旅』
2015年12月14日～15日、広島の中国・四国中国帰国者支援・交流センターが社会見学交流会を開催し、金色に輝く葉、緑の樹木、赤く燃える紅葉、そんな彩とりどりの京都が私たちを迎えてくれた。初のJRは、レールのガタソントンというリズムとともに、山を越え、谷を越え、懐かしい思い出がさざ波のように押し寄せてきた。新幹線への乗り換えも初めてで、雷電の如き速さで時代を乗り越えていくように感じ、さすが、国内外から高い評価を得た日本のハイテクな乗り物だと感心させられた。世界に名を馳せる都—京都。二日間でさまざまな名所をめぐり、一番威厳を感じたのは金閣寺と清水寺だった。優雅に佇む金閣寺。煌びやかに輝いていて、一度焼失したとは思われないほど、際立ち、異彩を放っていた。名所古刹、木造の清水寺。幾度か世の移り変わりを経て、そびえ立ち、人々に崇められている。古希となり、旧友に再会し、新しい友ができたのはセンターのおかげだ。このような社会見学交流会を計画していただき、感謝している。晩年の忘れ難き旅となつた。

『忘年会』
岡山市芳田公民館日本語教室の講師と受講生が一堂に会し、忘年会を行つた。2015年に起きたことを振り返り、2016年への抱負を語りながら、美味しい料理を堪能した。ここ数年、二人の先生がボランティアとして、私たちに日本語を教えてくれ、大変感謝している。勉強する際、正しい発音がなかなかできなくても、そのたびに訂正してくれたり、毎回、丁寧に準備してくれたり、高齢の人や受講時間の短い人のためには、毎月1回の補習授業をしてくれたりして、受講生に大変好評だ。授業をスムーズに行つたため、二人の先生はわざわざ中国語の勉強をしたようだ。受講生の日本語のレベルは全体的にあがつたように感じる。その日、忘年会に参加した一人ひとりが講師への感謝の言葉を述べ、今後もレベルアップを目指して努力すると目標を掲げた。

2月・3月の予定

2月10日 2月17日	就職講座 ボランティア研修会	3月8日 学習発表会
----------------	-------------------	---------------

投稿募集
あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？ 内容は何でもかまいません。原稿は400字以内で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。なお、紙面の都合により、掲載されない場合もありますので、ご了承ください。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記
もうすぐ春節ですね。比較的静かにお正月を迎える日本と比べ、中国の春節は、至る所に飾り付け、嵐のように花火をあげ、とても賑やかです。日本に来て十数年、春節のために何か特別な準備もしなくなつきました。でも、毎年「もうすぐ春節ね」を聞くたび、暖かく懐かしい気持ちになります。みなさんは今年の春節をどのように過ごされますか。(金山)

第52号

平成 28 年 2 月 1 日 発行
(偶数月発行/年 6 回)

七色花

【発行者】

中国・四国中国归国者支援・交流中心
社会福祉法人 广島县社会福祉协议会
〒732-0816 广島市南区比治山本町 12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

广岛县志愿者研修会



12月3日(周四)以广岛市立白岛小学的4年级学生为对象举办了志愿者研修会。做为国际理解教育,首先由学校的老师向孩子们介绍了旧满洲的历史。会上,孩子们提出了不少纯朴的问题,例如「为什么明明是日本人的归国者还要学习日语呢?」等,对此,老师和中心职员分别做以了详细的解答。之后由归国者向孩子们传授了中国结的做法,边教边与孩子们进行了交流。希望通过这种与归国者直接接触的课堂学习,能给孩子们留下深刻的印象。

冈山县咨询说明会・促进健康交流会

12月11日(周五)以冈山县归国者为对象举办了咨询说明会・促进健康交流会。通过咨询说明会和大家一起学习了关于认知症的知识。有家里人已经患严重认知症的参加者,讲述了至今为止的实际经历,不仅让人听得十分心酸,更感受到认知症问题的切身性。下午进行了体育吹箭比赛,虽然是第2次举办这样活动,大家参加的兴致勃勃,并提出希望今后能继续举办下去。



中国・四国地区社会观摩交流会



12月14日(周一)・15日(周二)以中四国地区的归国者为对象,举办了社会观摩交流会。两天的时间里,参观了太秦电影村、金阁寺、嵐山、平安神宫、清水寺、平等院等京都的代表观光景点。通过浏览文化古都,不仅加深了大家对日本历史文化的切身感受,还增进了彼此间的交流。在活动期间,还向归国者进行了有关个人编号的说明会,并详细解答了比如说需不需要申请个人编号卡、个人编号卡的使用场合等具体问题,消解了大家对新制度的不安。



广岛县促进健康交流会

12月21日(周一)以广岛县归国者为对象,举办了以促进健康为目的的迷你运动会。平时不是腰疼就是腿疼的归国者到了比赛场面,大家都全力以赴,有些场面甚至让人担心会不会摔倒。为了测试大家的日语听力能力,还在比赛中设置了传话项目,希望通过这项活动不仅起到促进健康的目的,还能够提高大家的集体意识和日语学习干劲儿。通过参加各种各样的比赛项目,想必这一天大家一定度过地十分充实。



香川县老人院观摩・交流会

1月19日(周二)以香川县归国者为对象举办了老人院观摩・交流会。这次访问了位于高松市内,建成于昭和4年的特别养护老人院「さぬき」。观访后,有的参加者谈到「父母年岁都已经高龄,互相看护的负担十分大,可是,无论如何劝告也不愿意利用日托或登门护理等护理服务。这次通过参观,深有感触。回到家后,就把今天的参观内容和制度内容介绍给父母,并尽早与相关部门商谈父母的护理问题」。通过参加这样的活动让大家有了重新审视护理服务的机会。

